

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所6号機原子炉内における
針金らしきものの発見および回収について

平成21年3月27日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

<概要>

(事象の発生状況)

- ・ 定期検査中の6号機において、原子炉圧力容器とシュラウドの間の点検・清掃作業を行っていたところ、本日午前8時頃、針金らしきものが1本あることを、協力企業作業員が水中カメラで発見いたしました。
- ・ その後、午後2時頃、吸引ポンプで回収いたしました。

(今後の対応)

- ・ 今後、原子炉圧力容器とシュラウド間の全周の確認作業を行うとともに、回収した異物について調査を行います。
- ・ 引き続き異物混入対策を徹底してまいります。

(公表区分)

- ・ 公表区分Ⅱ（運転・保守管理上、重要な事象）としてお知らせするものです。詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

定期検査中の当所6号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）において、原子炉圧力容器とシュラウド*間（アニュラス部）の点検・清掃作業を行っていたところ、平成21年3月27日午前8時頃、針金らしきものが1本（長さ約3cm）沈んでいることを協力企業作業員が水中カメラで発見し、その後、午後2時頃に吸引ポンプで回収いたしました。

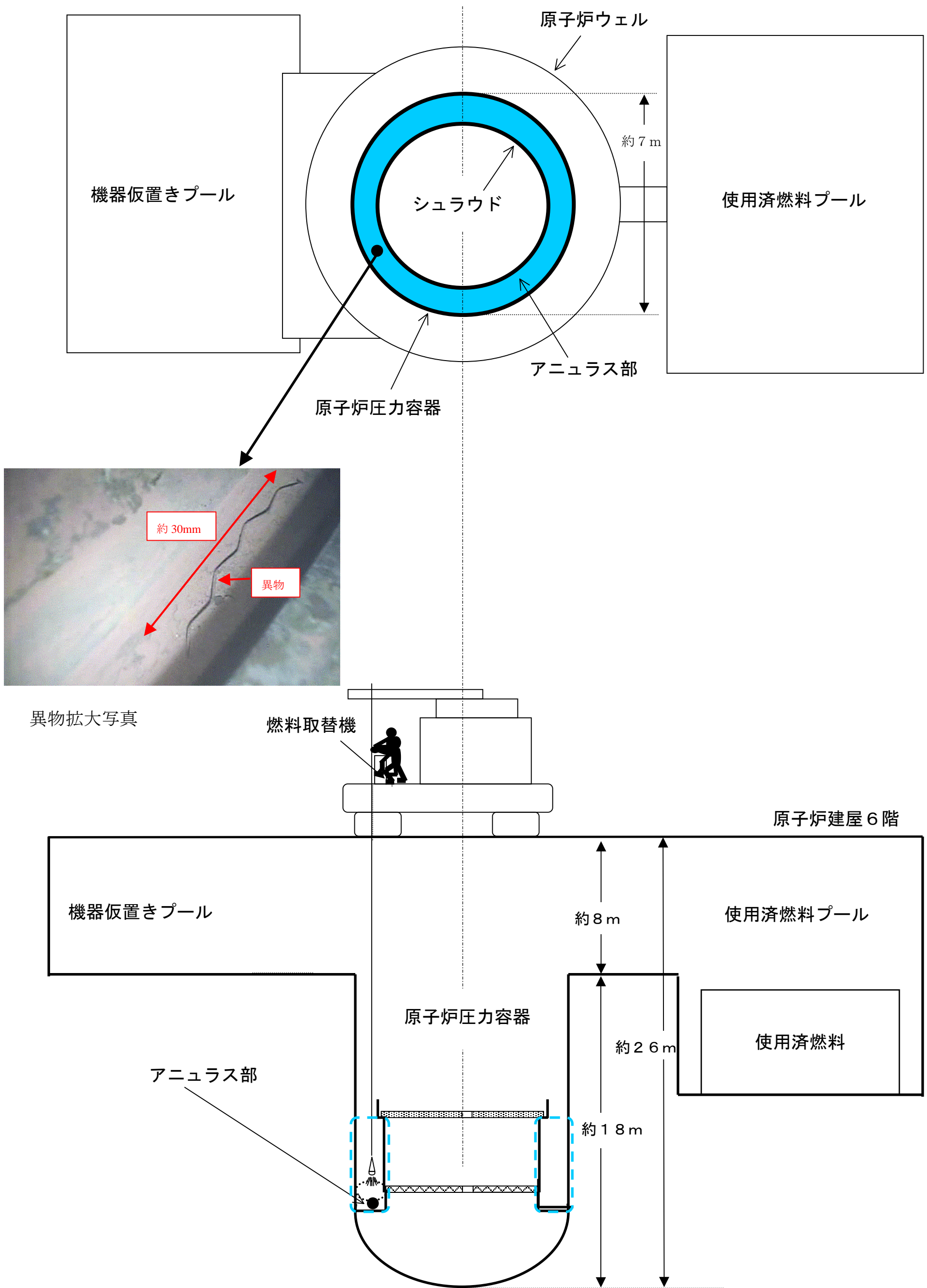
2. 今後の対応

今後、原子炉圧力容器とシュラウドの間（アニュラス部）の全周の確認作業を行うとともに、回収した異物について調査を行います。
今後引き続き異物混入対策を徹底してまいります。

以 上

* シュラウド

原子炉圧力容器内に取り付けられている燃料集合体（炉心）を囲むように配置されている円筒状の機器で、原子炉内の冷却水の流れを分離する仕切板の役割をもつもの。



6号機シュラウド外周部異物発見概略図